



今月号では、今年100周年を迎えられた株式会社タナカハウジングの田中尚吾代表取締役にお話を伺いました。



## 株式会社タナカハウジング

|     |                                      |
|-----|--------------------------------------|
| 所在地 | 山口市小郡船倉町4番 34 号                      |
| 連絡先 | TEL 083-972-2564<br>FAX 083-972-2655 |
| メール | thousing@itg.bcj.ne.jp               |
| 代表  | 田中 尚吾                                |



田中尚吾 代表取締役

### ●会社沿革

- 大正13年 田中ヒサ(初代)が「田中商店」として創業
- 昭和10年 田中ヒサの長男 田中利一(2代目)が「田中電気商会」として事業承継
- 昭和15年 田中利一の父 田中為一(3代目)が「田中硝子店」として事業承継
- 昭和25年 「企業組合 田中硝子店」に商号変更
- 昭和37年 田中為一の孫 田中英在(4代目・現会長)が後継
- 昭和47年 S44年に新設した(株)山口アルミ建材を(株)タナカハウジングに商号変更。  
田中硝子店は吸収合併。
- 平成21年 田中尚吾(5代目)が代表取締役に就任
- 令和 6年 創業100周年を迎える

### ●創業当時から小郡で、地域に根差して迎えた 100 周年

タナカハウジングは窓廻りの鋼製建具やガラス、シャッターの工事などを手掛ける会社です。創業当初から小郡で事業を営んでおり、今年で100周年を迎えました。

はじめは、現会長の祖母である田中ヒサが、大正13年に現在の小郡小学校の前で始めた文房具店「田中商店」でした。昭和10年にはヒサの息子である田中利一が「田中電気商会」と商号を変更して事業を継承しました。県外で電気関係のことを学んで帰ってきて、新たに電気屋を開いたと聞いています。しかし、第二次世界大戦下で出征し、帰らぬ人となってしまいました。

商売を引き継いだのは、利一の父親で、ヒサの夫である田中為一でした。為一は「田中硝子店」として事業を継ぎました。元来、外国航路の船長でありました為一は、利一の長男の英在への中継役として、企業内容を変遷しつつ孫の成長を待ったそうです。



新築の企業組合田中硝子店の本社前にて

私自身は宇部の出身で、タナカハウジングに入社する前はセメント会社にエンジニアとして勤めていましたが、平成5年にタナカハウジングに入社しました。

セメント会社ではセメント製造に携わったり、セメントを作るための機械を設計したりしておりました。この経験は建築にも役立つと思い、この業界に飛び込みました。

その後、学業を終えた現会長の田中英在が大阪へ修行に出てガラスのことを学び、昭和37年に4代目として田中硝子店を引き継ぎました。昭和44年には「(株)山口アルミ建材」を設立。ガラスとサッシを専門に扱っていましたが、同社設立から3年後にシステムキッチンやお風呂など家に必要なものを幅広く売れるようにしたいと、「(株)山口アルミ建材」から「(株)タナカハウジング」に商号を変更し、その際に田中硝子店も吸収合併しました。



昭和15年の田中電気商会の店舗前で  
左から3番目が初代・田中ヒサ、右から1番目が3代目・田中為一、2番目が4代目・田中英在



現在のタナカハウジング社屋外観

### ●県内で鋼製建具・ガラス工事など幅広く請け負い

当社では窓を構成するサッシやガラスのほか、スチールドアなどの鋼製建具、シャッター、フェンス、カーポートなどを取り扱っています。サッシやガラスは自社で施工・管理まで担いますが、システムキッチンやユニットバスの設置では、水

道工事が必要になるため、設備業者の方と協力して対応します。

主な取引先は県内外の総合建設企業や工務店で、公共施設・商業施設から一般住宅まで幅広く施工させていただいています。

直近では、徳地総合支所や地域交流センターなどからなる徳地地域複合型拠点施設の新築工事で、ガラス製の階段手すりを設置しました。ガラスは、特産品の徳地和紙を挟んだ合わせガラスになっています。

また、鋼製建具やトイレブース工事も担いました。そのほか、市内の小売店舗新築工事や、宇部協立病院の改修工事、高千帆小学校の整備事業などにも携わりました。

一般住宅での仕事を依頼していただくことも多いのですが、新たな営業先を開拓していくことは一つの課題であると感じます。



徳地地域複合型拠点施設に設置した  
ガラス製階段手すり



ガラスには徳地和紙の藍染め品を  
挟み込んでいる

## ●記念事業として地域の学校に寄付、地元へ恩返し

100周年という節目が近づいてきた頃、記念事業を考え始めました。その頃、小郡小学校が150周年を迎えて、周年事業をするという話を耳にしました。「何か地域のために恩返しをしたい」と思っていましたし、会長をはじめ、私の子どもたちも小郡の学校に通ってきたこともあり、地域内の小学校3校と中学校で学校活動の振興に活用していただこうと山口市に100万円を寄付しました。



伊藤市長に目録を手交

## ●窓・建具で人の健康と家の環境を良好に

「窓の寒さ対策をしたい」「日差し抑えて快適に過ごしたい」など、窓廻りの困りごとがあれば、ご相談いただきたいです。長く経営してきたからこそ、他事業者との横のつながりがしっかりしています。自社だけでは対応が難しいお話でも確かな事業所をご紹介して対応することができます。

例えば、被害の大きい台風が来たとき、窓ガラスやカーポートの損傷など、1日に20~30件も問い合わせがありました。皆さんに共通しているのは「とにかく早く来てほしい」「早く直してほしい」と考えられていることだと思います。そのため、連絡をいただいたら、できるだけ早く伺って対応することを心掛けています。「窓廻りのかかりつけ医」となって、皆様の生活をサポートしたいと考えています。



可動ルーバー式の雨戸を施工した様子

また、窓を活用したエコな取り組みを進めていきたいです。窓は密閉性を高めて冷暖房がよく効くようにすることもできますが、家の中にしっかり風を通して換気できるようにした方が体にも家の環境にも良いはずです。余計な電気を使わなくても快適に過ごせるようになる窓や設備を勧めていきたいと考えています。なかでも数年前から勧めているのが換気のしやすい雨戸です。可動ルーバー（開閉可能なアルミルーバー羽根）式で、ルーバーを開けることで日差しを避けながらしっかりと風を通すことができますし、閉めれば防犯対策にもなります。このような設備の導入を進めたいと考えています。

当社では役員を含め正社員8名と専属職人7名が働いています。そのなかには、50年以上、30年以上と長く勤めてくれている社員や、親子3代にわたって事務を担ってくれている方々がいます。100年も続けてこられたのは、地域の皆様に大事に育ててきていただいたおかげであることはもちろんですが、このような従業員に恵まれたおかげでもあり、本当に感謝しています。これからも地元と従業員を大切に、地域の人に愛される会社でありたいと思います。

